

ナンバリング	科目名		サブタイトル	担当教員	配当年学期	単位数
112AH03	歴史学 A		民俗学・社会的に生活の歴史を理解する	濱 雄亮	1 年次前期	2
科目区分	基礎	キーワード	民俗学・近代化・生活史			
ディプロマポリシーとの対応	1. 時代や社会の要請に対応できる能力					
カリキュラムポリシーとの対応	1. 一般教養および専門的（交通・観光関係）な知識と実践力とを総合的に身につける					
事前に受講するとよい科目	特になし					
オフィスアワー	授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。					
教員への連絡方法	教員の短大メールアドレス					
講義の目的	民俗学や社会学の考え方に基づいて、近代化に伴う一般の人々の生活の変化や歴史を学ぶことを目的とします。主に日本の近現代史を扱いますが、部分的に江戸時代以前や外国のことも扱います。偉人や政治に焦点を当てた高校までの歴史教育とは異なります。					
到達目標	近代化に伴う生活の変化や人々の生きざまと歴史の多面性について、具体例と民俗学・社会学の理論に基づいて説明できることを目指します。					
講義内容	近代化に伴う生活の変化について（例：共同体重視から個人重視へという変化）、様々な対象についての具体例を多く紹介します（外国も含む）。また、女性史・無文字社会の歴史などについても紹介します。人々の生きざまは今も変化の途上であることについての実感を得られるようにします。予備知識はとくに必要ありません。					
講義スケジュール		タイトル	内容			
	第1講	イントロダクション	歴史を民俗学的に学ぶ意義とは何か			
	第2講	生活の歴史と変化(1)	国内の移動の活発化は何をもたらしたか			
	第3講	生活の歴史と変化(2)	国際移動はなぜ起きるのか・何をもたらしたのか			
	第4講	生活の歴史と変化(3)	食事・酒のあり方はどのような変遷をたどったのか			
	第5講	生活の歴史と変化(4)	結婚・家族のあり方はどのような変遷をたどったのか			
	第6講	生活の歴史と変化(5)	名前の役割や特徴とは何か、子どもの位置づけの多様性			
	第7講	生活の歴史と変化(6)	方言の特徴や方言をめぐる現代的变化とは何か			
	第8講	生活の歴史と変化(7)	言語（学）的にみた日本語の特徴とは何か			
	第9講	生活の歴史と変化(8)	声の文化と文字の文化、墓と先祖供養の特徴とは何か			
	第10講	各地の歴史と文化(1)	東アジアの文化（「家族・宗教」を中心に）			
	第11講	各地の歴史と文化(2)	アフリカの文化（「声・音」による無文字情報伝達）			
	第12講	生活の歴史と変化(9)	宗教と近代化の特徴とは何か			
	第13講	バーチャル見学会	歴史的行事・博物館のバーチャル見学			
	第14講	生活の歴史と変化(10)	日本文化の源流：地域と暮らし			
第15講	総括	トランスナショナリズム、総括				
指導方法	講義形式です。動画・写真も用います。なお、「* *と聞いて思いつくこと」などをその場で質問しその答えを即興で講義に生かすこともあります。毎回、感想・意見記入などの授業内課題を課します。					
事前学習	シラバスに挙げられている項目について事典・書籍・信頼できるウェブサイトによって概要を調べて下さい。自分や家族の経験をふり返ることも有用です。1 時間 30 分程度の学習時間が目安である。					
事後学習	授業中に紹介した書籍や配布物の読解や、自ら関連映像資料を探して視聴して下さい。支障のない範囲で自分や家族の経験をふり返ってください。1 時間 30 分程度の学習時間が目安である。					
成績評価方法	平常点（授業内課題）：60%、本試験（筆記試験）：40%。					
課題(試験・レポート)に対するフィードバックの方法	授業内課題は原則として次の授業時に解説・補足説明を行います。					
テキスト	用いません。紙の資料を配付します。					
参考文献	川田順造『無文字社会の歴史』講談社、2001 年。宮本常一『忘れられた日本人』岩波書店、1984 年。柳田国男『明治大正史 世相篇』講談社、1993 年。他にもその都度紹介します。					
実務家教員による授業	教員	経歴				
特記事項	伝統的な祭りや博物館の見学会を行う場合があります。ただし参加は義務ではありません。					